

横浜市立上郷小学校 平成30年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○学校教育目標実現に向けて、「チーム上郷」として、全職員で活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう、教育課程の運営・改善に努めます。 ・人権尊重の精神に基づいて誰もが安心できる居場所を提供し、児童を温かく見つめ諸問題を的確にとらえ迅速に対応する教職員の育成に努めます。 ・小中の連携に努め、互いの立場を十分に理解して、9年間の教育活動を推進します。 ・挨拶を大切に、物事の善悪を正しく判断する心を育てます。 ・地域の活動に積極的に参加し、地域とのつながりを強めていくとともに、地域社会に貢献できる力を育てます。 ・すべての教職員が相互に啓発・連携する活気あふれる教職員を目指します。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

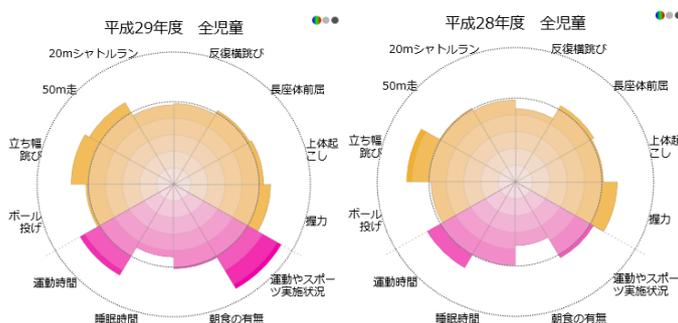
重点取組分野		取組目標	具体的取組
健やかな体		<p>◎体育の授業の充実、継続的な体力づくりの活動、健康に関わる日々の指導を通して、自分からすすんで体力づくりや望ましい生活習慣づくりに取り組み、健やかな体をつくることのできる子を育てます。</p>	<p>①メンターなど校内研修による、体育科・保健体育科の授業改善を図る。</p> <p>②体力テストの結果や児童の様子をもとに、一校一実践の縄跳びの計画をし、継続して運動する機会を設ける。</p> <p>③体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携して生活習慣の改善を図る。</p>
担当	体育部		

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・地域では、運動のクラブに所属している児童も多く体を動かす習慣が身につけている児童もいるが、一方で運動をほとんどしない児童も多数おり、二極化している。
- ・保健室の利用状況（傷病の状況）は、体調不良やけが、また不登校傾向の子など、日々児童が保健室を利用しており養護教諭や児童支援専任教諭が対応している。
- ・一校一実践の取組の様子をみると、縄跳びの取組が子どもたちに根付いてきており、意欲的に取り組んでいる様子が見られる。目標に向かって取り組む様子が見られる。

(2) 体力の概要と要因の分析



昨年度の課題であった投能力、敏捷性が伸びてきた。一校一実践で取り組んでいる縄跳びの成果が出てきているようだ。しかし、まだ市平均を下回っている結果である。

生活調査では、睡眠時間の項目が低い結果である。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科・保健体育科では、器械運動領域を重点領域とし、できる喜びを感じ、運動の楽しさを味わうことができるようにし、運動にすすんで取り組むことができるように体育学習の充実を図る。
- ・運動の特性にふれながら、自分にあつためあてをもって運動に取り組むことができるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食育との関連を図る。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育科・保健体育科で培った資質能力をさらに発展させ、協力して運動する楽しさや友達と競う楽しさを味わえるようにする。また、体育学習の成果を発表し合い、運動や健康に対する関心や意欲を高めるようにしている。
- ・保健委員会では、児童の健康面での課題をとらえ、朝会などで具体的実践を呼びかけている。
- ・栄養教諭との食育の学習の中で、健康との関連について考え、健康についての関心や意欲を高めるようにしている。

課外活動

- ・元気委員会では、休み時間にボール・長縄の貸し出しを行い、外遊びを推進している。
- ・廊下の正しい歩き方などを指導し、児童の安全確保に努めている。

平成30年度 上郷小学校 体力向上一校一実践運動

《名称》 上郷体力アップ大作戦！

《ねらい》 運動機会の確保、児童の体力向上

《内容》 ・1年間を通して、月に1度体育集会を行い、継続的に縄跳び運動に取り組む。
元気委員会（児童）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。
・1年間で、長縄と短縄に半年ずつ取り組む。
・年に1回長縄大会を設け、目標に向かって取り組んだり、達成する喜びを味わえたりするようにする。

- 指 標：
- ①各クラスで長縄大会前後に目標設定、振り返りを行う。
 - ②縄跳びカードを使って、個人で振り返りを行う。